

読んで知って貞山運河

地元団体名取市に冊子9000部

仙台湾岸の貞山運河をま
ちづくりに生かす一般社団
法人「貞山運河ネット」（名
取市）は13日、運河を紹介
した冊子約9000部を名
取市に寄贈した。市内の全
小中学校の児童生徒に配布
し、各家庭で読んでもらう
ことを期待した。

市役所であった贈呈式で
ネットの桜井広行会長は
「（仙台藩祖）伊達政宗が
築いた歴史遺産を子どもた
ちに知ってもらい、古里に
誇りを持ってほしい」と願
った。山田司郎市長は「市
と運河の関わりを次世代に
引き継ぎたい」と話した。
冊子は「別冊りらく貞山
運河編」で、プランニング
・オフィス社（仙台市）が

月刊誌「りらく」1月号で
20頁にわたり特集したもの
をまとめた。市図書館や公
民館にも配布される。

貞山運河ネットは名取市
や仙台市の水産、観光業者



山田市長（左）に冊子を手渡す
桜井会長（中央）

らが参加し、4月に設立さ
れた。運河を活用した地域
の活性化を目指している。